

2015年3月期 第2四半期決算説明会



目次

1 経営概況、当社の取り組み

2 2015年3月期第2四半期 連結決算

3 2015年3月期 連結業績予想

4 連結業績の推移

5 参考資料

	2015年3月期 今回予想	2015年3月期 当初予想	対前回予想 増減	対前回予想 増減率	2016年3月期 E2プラン目標
営業収益	2,484億円	2,479億円	5億円	0.2%	—
営業利益 (営業利益率)	227億円 (9.1%)	227億円 (9.2%)	0億円	0.0%	230億円以上 (9.5%以上)
経常利益	349億円	321億円	28億円	8.7%	310億円以上
当期純利益	248億円	218億円	30億円	13.8%	—
有利子負債 残高 (EBITDA倍率)	3,550億円 (7.9倍)	3,535億円 (7.8倍)	15億円	0.4%	3,550億円以下 (7.7倍以下)

※有利子負債残高にはリース債務を含む

※EBITDA倍率＝有利子負債残高 ÷ (営業利益 + 減価償却費)

運輸業(1) 鉄道輸送人員・旅客運輸収入



第2四半期実績(対前年同期比、対当初予想比)

当社鉄道輸送人員

(単位:千人)

	2015年3月期 第2四半期	2014年3月期 第2四半期	対前年 増減	対前年 増減率	2015年3月期 第2四半期 当初予想	対当初予想 増減	対当初予想 増減率
輸送人員	134,074	133,514	560	0.4%	133,017	1,057	0.8%
定期	79,445	78,691	754	1.0%	78,178	1,267	1.6%
定期外	54,629	54,823	△194	△0.4%	54,839	△210	△0.4%

旅客運輸収入

(単位:百万円)

	2015年3月期 第2四半期	2014年3月期 第2四半期	対前年 増減	対前年 増減率	2015年3月期 第2四半期 当初予想	対当初予想 増減	対当初予想 増減率
旅客運輸収入	27,974	28,045	△71	△0.3%	27,742	231	0.8%
定期	9,892	9,877	14	0.2%	9,813	79	0.8%
定期外	18,081	18,168	△86	△0.5%	17,929	152	0.9%

2

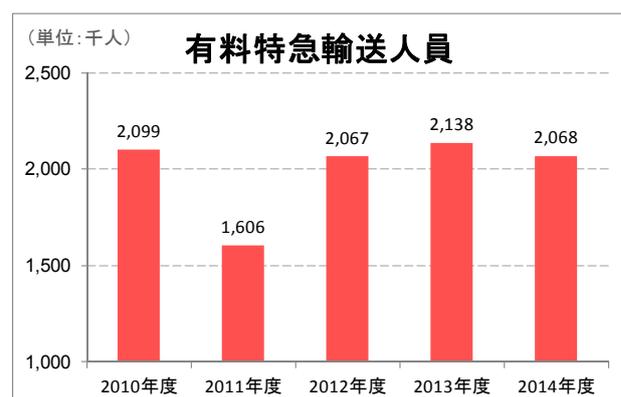
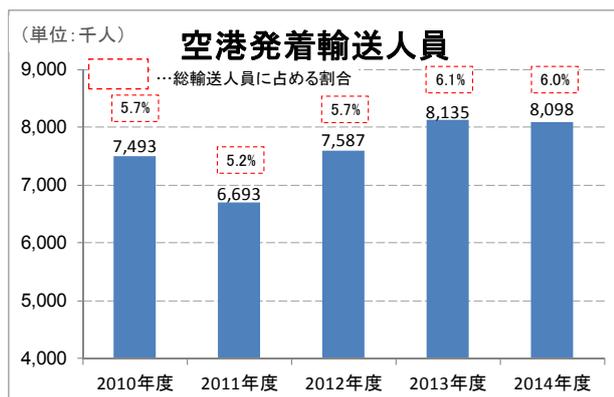
運輸業(2) 成田空港発着鉄道輸送人員



第2四半期実績(対前年同期比、対当初予想比)

(単位:千人)

	2015年3月期 第2四半期	2014年3月期 第2四半期	対前年 増減	対前年 増減率	2015年3月期 第2四半期 当初予想	対当初予想 増減	対当初予想 増減率
空港発着 輸送人員	8,098	8,135	△37	△0.5%	7,850	248	3.2%
内 有料特急 利用人員	2,068	2,138	△70	△3.3%	2,044	24	1.2%

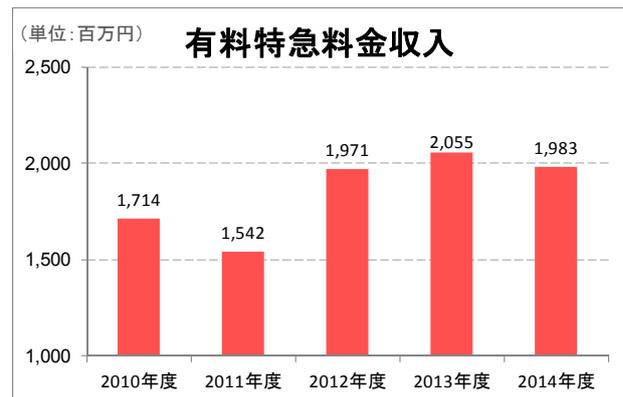
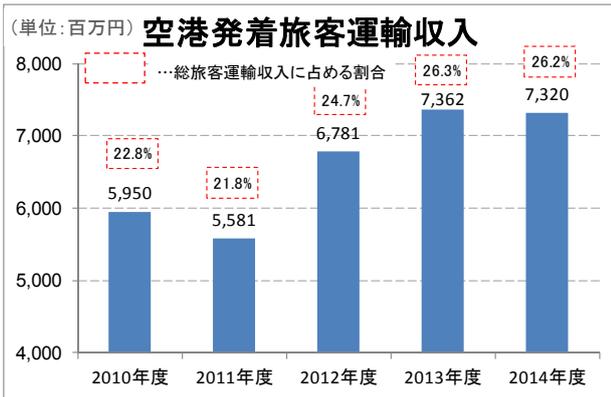


3

第2四半期実績(対前年同期比、対当初予想比)

(単位:百万円)

	2015年3月期 第2四半期	2014年3月期 第2四半期	対前年 増減	対前年 増減率	2015年3月期 第2四半期 当初予想	対当初予想 増減	対当初予想 増減率
空港発着 旅客運輸収入	7,320	7,362	△41	△0.6%	7,058	261	3.7%
内 有料特急 料金収入	1,983	2,055	△72	△3.5%	1,954	28	1.5%



運輸業(4) 鉄道輸送人員・旅客運輸収入



通期予想(対前期比、対当初予想比)

当社鉄道輸送人員

(単位:千人)

	2015年3月期 通期予想	2014年3月期 実績	対前年 増減	対前年 増減率	2015年3月期 当初予想	対当初予想 増減	対当初予想 増減率
輸送人員	264,675	266,953	△2,278	△0.9%	263,643	1,032	0.4%
定期	154,187	156,123	△1,936	△1.2%	152,673	1,514	1.0%
定期外	110,488	110,830	△342	△0.3%	110,970	△482	△0.4%

旅客運輸収入

(単位:百万円)

	2015年3月期 通期予想	2014年3月期 実績	対前年 増減	対前年 増減率	2015年3月期 当初予想	対当初予想 増減	対当初予想 増減率
旅客運輸収入	55,744	56,411	△666	△1.2%	55,463	281	0.5%
定期	19,352	19,716	△365	△1.9%	19,309	42	0.2%
定期外	36,392	36,694	△301	△0.8%	36,153	239	0.7%

5

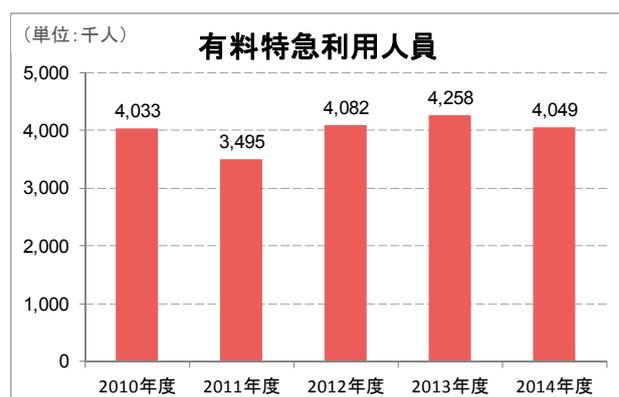
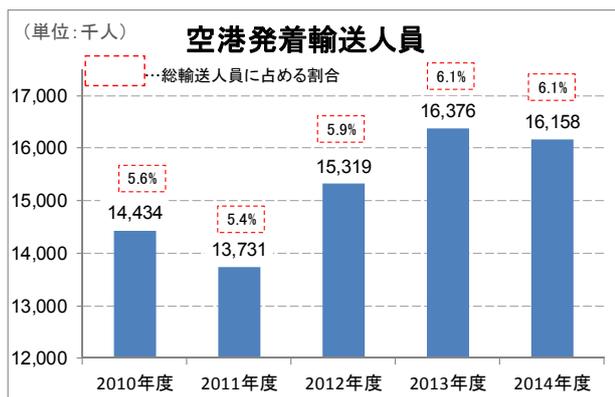
運輸業(5) 成田空港発着鉄道輸送人員



通期予想(対前期比、対当初予想比)

(単位:千人)

	2015年3月期 通期予想	2014年3月期 実績	対前年 増減	対前年 増減率	2015年3月期 当初予想	対当初予想 増減	対当初予想 増減率
空港発着 輸送人員	16,158	16,376	△218	△1.3%	15,627	531	3.4%
内 有料特急 利用人員	4,049	4,258	△209	△4.9%	4,028	21	0.5%

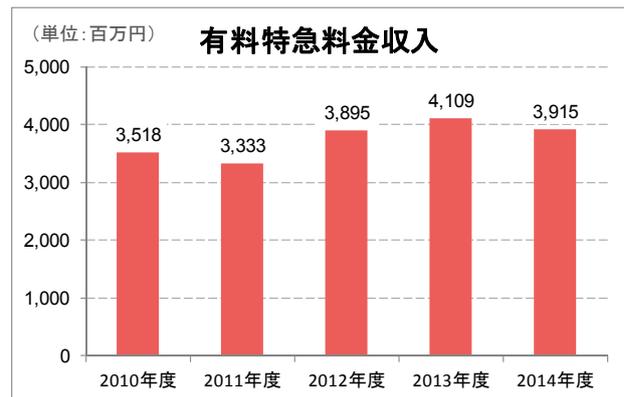
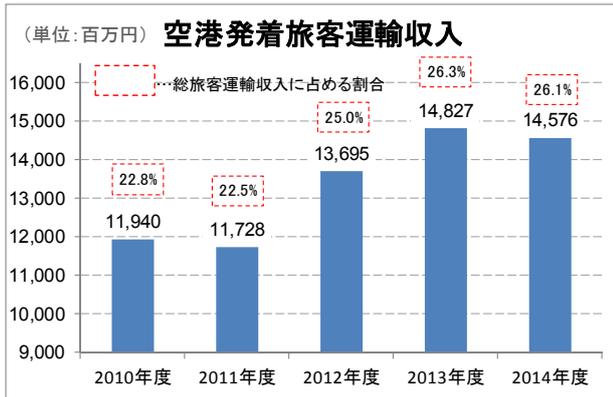


6

通期予想(対前期比、対当初予想比)

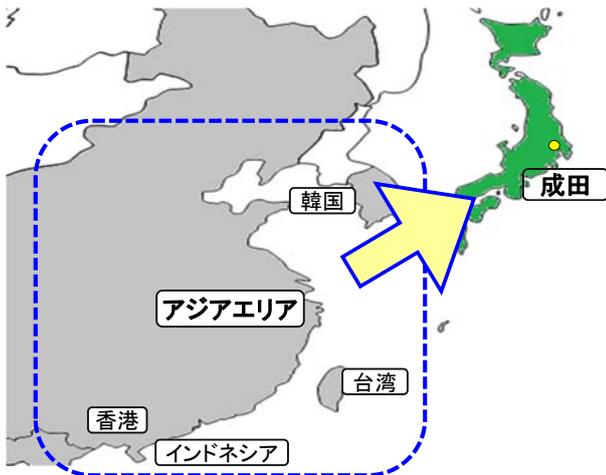
(単位:百万円)

	2015年3月期 通期予想	2014年3月期 実績	対前年 増減	対前年 増減率	2015年3月期 当初予想	対当初予想 増減	対当初予想 増減率
空港発着 旅客運輸収入	14,576	14,827	△251	△1.7%	14,067	508	3.6%
内 有料特急 料金収入	3,915	4,109	△194	△4.7%	3,858	56	1.5%



運輸業(7) 成田空港輸送の収益力強化(鉄道事業)①

インバウンド営業の強化



※写真は2012年のものです。

- 2010年11月以降、韓国、台湾、香港、インドネシアにおいて「スカイライナークーポン」等の発売を順次開始
- 訪日外国人向け「Keisei Skyliner & Tokyo Subway Ticket」を発売(2014年7月)
 - ースカイライナー券と東京メトロ及び都営地下鉄全線の1日～3日券をセット販売
- 台北国際旅行博に出展(2014年11月)
 - ースカイライナーの認知度向上
 - ー台湾を中心としてアジアエリアへの営業強化

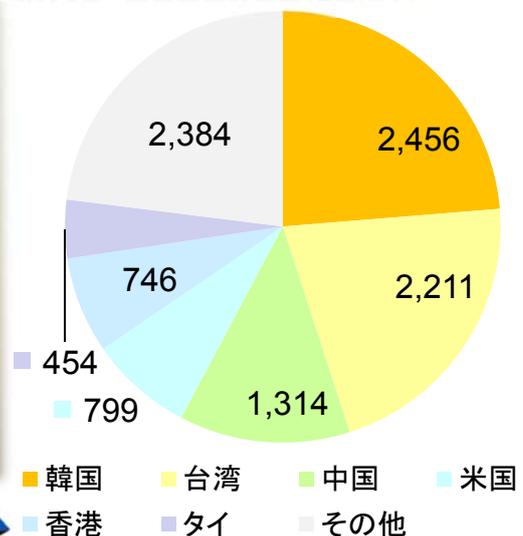
運輸業(8) 成田空港輸送の収益力強化(鉄道事業)②

韓国エリアへの営業強化

- 韓国のKORAIL空港鉄道と、両社の事業発展を図ることを目的とし、広告宣伝、旅客誘致等の分野における協力に向け、協議を進めることに合意(2014年9月)
- 2013年における訪日外客数の国別1位は韓国



2013年 国別訪日外客数(単位:千人)



出典: 日本政府観光局

LCC利用旅客への営業強化

- スカイライナーが割引価格でご利用いただける「スカイライナーパリューチケット」の機内販売を開始
 - 国内線
 - バニラエア、Peach、Spring Japan(春秋航空日本)
 - 国際線
 - タイ・エアアジアX(2014年12月発売予定)



成田スカイアクセスの利便性向上

- ダイヤ改正の実施(2014年11月)
 - スカイライナーを上下各1本増発
 - 京成上野23時発のイブニングライナー成田空港行を新設
 - 成田空港行き始発列車時刻繰り上げ、最終列車の時刻繰り下げ
- 臨時アクセス特急の運行(2014年8月)

販促キャンペーンの実施

- Spring Japan(春秋航空日本)の成田空港就航を記念し、NAAを含む3社でキャンペーンを実施



東京シャトルの営業力強化

- 東京シャトルのダイヤ改正を実施(2014年7月)
 - 1日80便から107便に増便(一部の便を2台で運行)
 - 成田空港発を20分間隔で運行(6:00~23:00)
 - 割引回数券の発売(2015年3月31日迄)
- 「東京シャトル&サブウェイバス」発売開始(2014年7月)



お客様利便性の向上

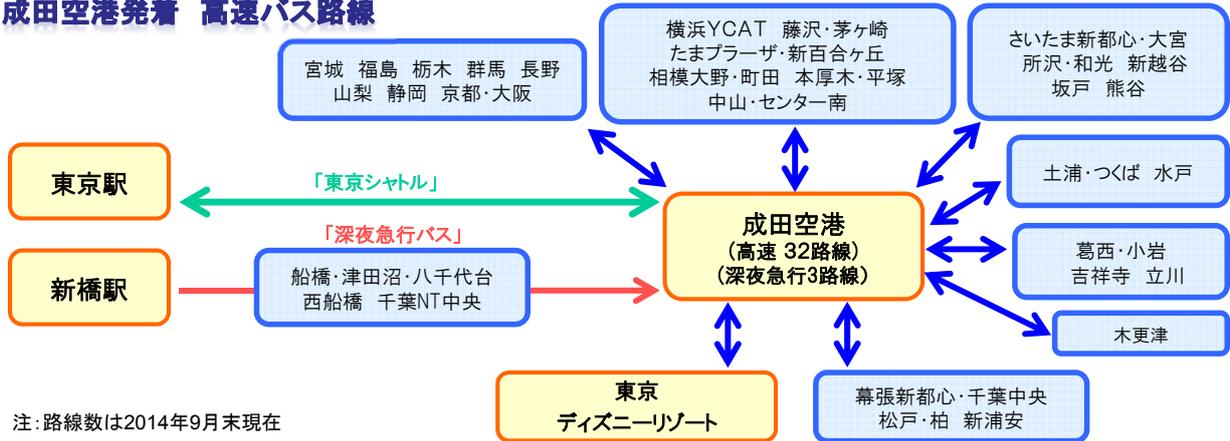
- 京成高速バスラウンジを開設(2014年7月)
 - 「東京シャトル」をはじめ、東京駅発着の高速バス11路線の乗車券を発売
 - 回数券や定期券の販売、予約受付など各種案内業務を行う窓口と待合室を設置



空港発着路線の拡充

- LCC早朝便に対応した路線バスを京成成田駅より運行開始(2014年6月)
- 千葉中央・稲毛海岸・幕張新都心～成田空港線のダイヤ改正を実施(2014年7月)
 - ー成田空港行を1日22便から27便に増便、成田空港発を19便から26便に増便
 - ー始発便の運航時刻繰り上げによりLCC早朝便に対応、イオンモール幕張新都心に乗り入れ開始
- 新浦安・「東京ディズニーリゾート®」～成田空港線のダイヤ改正を実施(2014年8月)
 - ー成田空港から、新浦安地区に向かう全6便のうち、3便を「東京ディズニーリゾート®」経由に変更

成田空港発着 高速バス路線



運輸業(12) 京成エリアの収益力強化

タクシー共同配車サービスの拡充

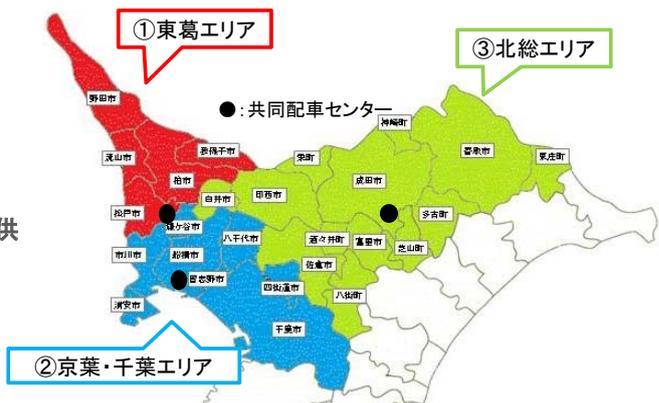
- 北総エリアの共同配車サービスを開始(2014年6月)
 - ※①東葛 ②京葉・千葉エリアは既に開設済
 - ー無線配車業務を統合効率化
 - ーGPS配車により、お客様に迅速な配車サービスを提供

デジタル共同無線導入済の会社 (2014年10月末現在)

「①東葛エリア」5社計221台
 合同タクシーに共同配車センターを設置
 ・合同タクシー・スタータクシー・小金交通・我孫子交通
 ・帝都あたごタクシー

「②京葉・千葉エリア」6社計390台
 船橋交通に共同配車センターを設置
 ・船橋交通・市川交通自動車・三田下総交通
 ・舞浜リゾートキャブ・習志野タクシー・西千葉タクシー

「③北総エリア」4社計164台
 千葉交タクシーに共同配車センターを設置
 ・千葉交タクシー・佐倉交通・八街タクシー・北総交通



京成グループタクシー 統一車両(千葉県内)



墨田区内連続立体交差化推進



京成曳舟駅高架化完成予想図

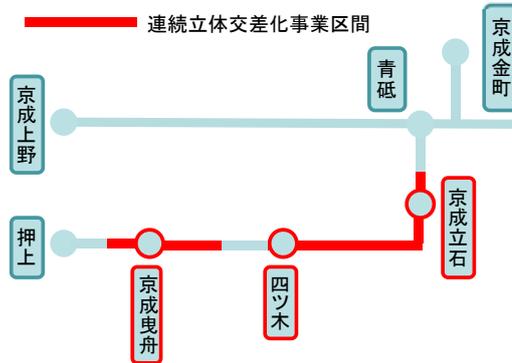


高架化した京成曳舟駅上り線

- 連続立体交差化工事を推進中
- 事業区間内8箇所の踏切を廃止
- 高架下スペースの有効活用を検討

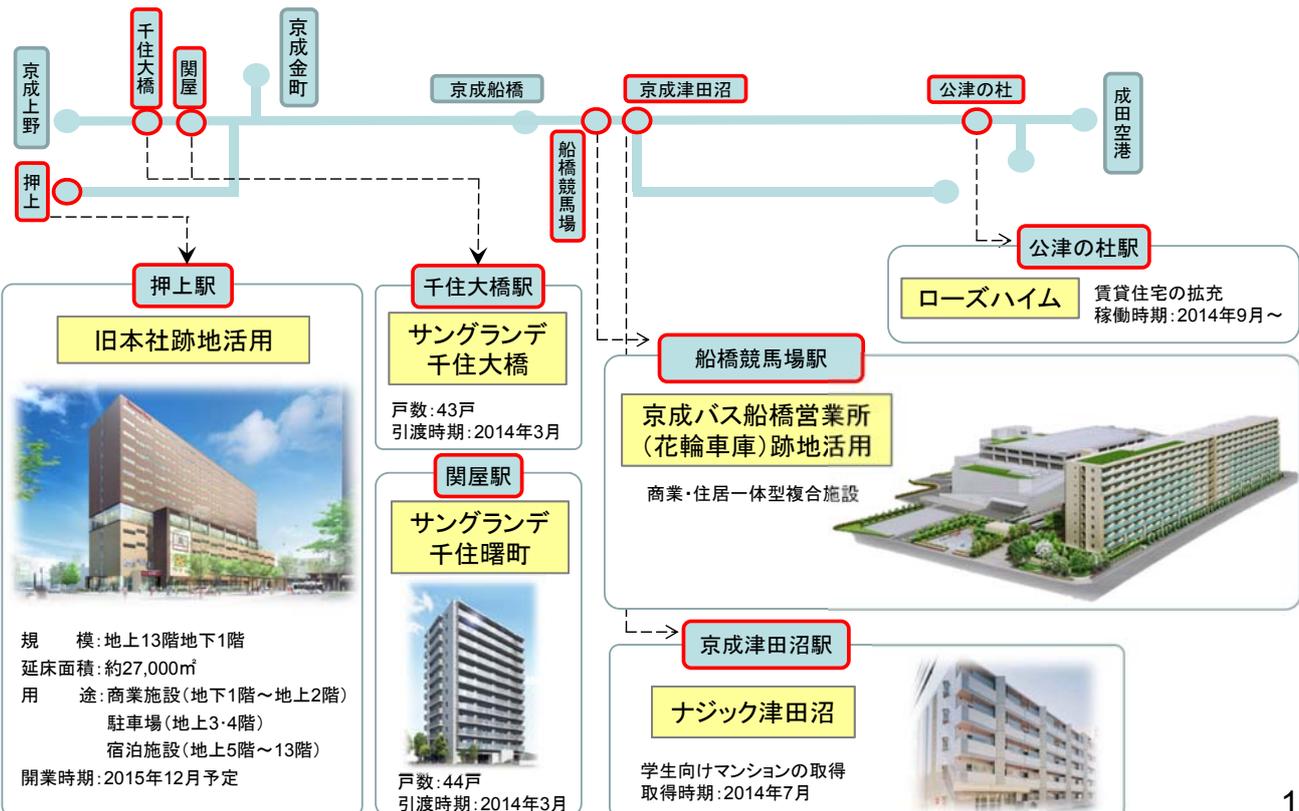
葛飾区内連続立体交差化推進

- 用地買収並びに調査を実施中
- 事業区間内11箇所の踏切を廃止



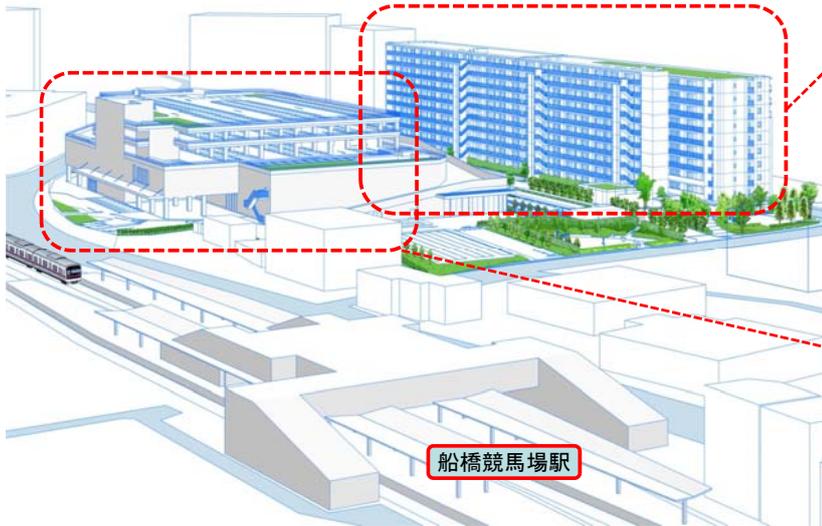
不動産業(1) 京成エリアの開発①

- グループ会社資産の有効活用により、賃貸資産の拡充を図ると共に、マンション開発により、沿線を活性化



不動産業(2) 京成エリアの開発②

京成バス船橋営業所(花輪車庫)跡地活用



サングランデ船橋宮本



敷地面積: 約9,000㎡
総戸数: 246戸
引渡時期: ウエストレジデンス 2015年3月予定
イーストレジデンス 2015年9月予定

賃貸商業施設(コーナン)



敷地面積: 約12,000㎡
延床面積: 約23,000㎡
用途: 商業施設
開業時期: 2015年3月予定

- 商業・住居一体型複合施設(総開発面積約21,000㎡)の開発を推進
 - 分譲マンション「サングランデ船橋宮本」販売中
 - 賃貸商業施設コーナン(2015年3月開業予定)

その他 多様化したお客様ニーズへの対応

駅売店のコンビニエンスストア化

- 当社線駅構内で展開する売店のコンビニストア化を推進
 - 2014年9月末において14店舗をコンビニエンスストア化



京成ホテルミラマーレ内レストランの改装

- 「中国料理 景山」の店内を一部リニューアルし、個室感覚のスペースを設置(2014年8月)



- | | |
|----------|---------------------------|
| 1 | 経営概況、当社の取り組み |
| 2 | 2015年3月期 第2四半期連結決算 |
| 3 | 2015年3月期 連結業績予想 |
| 4 | 連結業績の推移 |
| 5 | 参考資料 |

2. 2015年3月期 第2四半期連結決算(1)

■ 第2四半期の業績(前年同期比較)

(単位:百万円、%)

	2015年3月期 第2四半期	2014年3月期 第2四半期	増減	増減率
営業収益	121,264	119,716	1,547	1.3
営業利益	12,387	13,197	△ 810	△ 6.1
(営業利益率)	10.2	11.0	—	—
経常利益	19,162	19,837	△ 674	△ 3.4
うち持分法投資利益	8,258	8,384	△ 125	△ 1.5
四半期純利益	14,401	16,555	△ 2,154	△ 13.0

2. 2015年3月期 第2四半期連結決算(2)

■ 営業収益(セグメント別)

(単位:百万円、%)

	2015年3月期 第2四半期	2014年3月期 第2四半期	増減	増減率	差異内訳
運輸業	67,625	67,360	264	0.4	
流通業	35,120	36,228	△ 1,108	△ 3.1	ストア業・百貨店業の減
不動産業	8,797	8,691	105	1.2	
レジャー・サービス業	4,778	4,953	△ 175	△ 3.5	
建設業	10,100	8,048	2,051	25.5	完成工事高の増
その他の事業	2,159	1,523	635	41.7	
計	128,581	126,806	1,774	1.4	
消去又は全社	△ 7,317	△ 7,090	△ 226	—	
連結	121,264	119,716	1,547	1.3	

19

2. 2015年3月期 第2四半期連結決算(3)

■ 営業収益(主なセグメントの内訳)

(単位:百万円、%)

	2015年3月期 第2四半期	2014年3月期 第2四半期	増減	増減率	差異内訳
鉄道事業	35,797	36,065	△ 268	△ 0.7	
バス事業	21,082	20,563	519	2.5	乗合収入の増
タクシー事業	10,745	10,731	13	0.1	
運輸業計	67,625	67,360	264	0.4	
ストア業	18,807	19,404	△ 596	△ 3.1	店舗閉鎖による減
百貨店業	13,063	13,440	△ 376	△ 2.8	衣料品・食料品の売上減
その他	3,249	3,383	△ 134	△ 4.0	
流通業計	35,120	36,228	△ 1,108	△ 3.1	
不動産販売業	2,593	2,695	△ 102	△ 3.8	
不動産賃貸業	4,476	4,361	114	2.6	
不動産管理業	1,728	1,634	93	5.7	
不動産業計	8,797	8,691	105	1.2	

20

2. 2015年3月期 第2四半期連結決算(4)

■ 営業利益(セグメント別)

(単位:百万円、%)

	2015年3月期 第2四半期	2014年3月期 第2四半期	増減	増減率	差異内訳
運輸業	9,194	10,536	△ 1,342	△ 12.7	鉄道事業の減
流通業	463	623	△ 159	△ 25.6	
不動産業	2,210	2,031	178	8.8	
レジャー・サービス業	△ 65	26	△ 92	—	
建設業	262	△ 58	320	—	増収の影響
その他の事業	168	△ 34	202	—	
計	12,232	13,125	△ 892	△ 6.8	
消去又は全社	154	72	82	113.7	
連結	12,387	13,197	△ 810	△ 6.1	

21

2. 2015年3月期 第2四半期連結決算(5)

■ 営業利益(主なセグメントの内訳)

(単位:百万円、%)

	2015年3月期 第2四半期	2014年3月期 第2四半期	増減	増減率	差異内訳
鉄道事業	6,664	7,891	△ 1,227	△ 15.6	修繕費・動力費の増
バス事業	2,222	2,284	△ 62	△ 2.7	
タクシー事業	307	360	△ 52	△ 14.7	
運輸業計	9,194	10,536	△ 1,342	△ 12.7	
ストア業	253	228	25	11.0	
百貨店業	13	113	△ 100	△ 88.1	減収の影響
その他	195	280	△ 84	△ 30.2	
流通業計	463	623	△ 159	△ 25.6	
不動産販売業	△ 39	△ 134	94	—	
不動産賃貸業	2,133	2,094	39	1.9	
不動産管理業	116	71	45	63.0	
不動産業計	2,210	2,031	178	8.8	

22

2. 2015年3月期 第2四半期連結決算(6)

■ 連結キャッシュ・フロー

(単位:百万円)

	2015年3月期 第2四半期	2014年3月期 第2四半期	増減
営業活動による キャッシュ・フロー	18,863	21,807	△ 2,943
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 11,023	△ 7,630	△ 3,392
フリー キャッシュ・フロー	7,840	14,176	△ 6,336
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 12,180	△ 15,714	3,534
当期キャッシュ・フロー	△ 4,339	△ 1,537	△ 2,801

23

2. 2015年3月期 第2四半期連結決算(7)

■ 連結貸借対照表

(単位:百万円、%)

	2015年3月期 第2四半期	2014年3月期 実績	増減	増減率	差異内訳
流動資産	81,471	89,361	△ 7,889	△ 8.8	
固定資産	675,634	669,883	5,750	0.9	
資産合計	757,228	759,388	△ 2,160	△ 0.3	
流動負債	206,390	191,969	14,421	7.5	
固定負債	296,082	325,939	△ 29,856	△ 9.2	
負債合計	502,473	517,908	△ 15,435	△ 3.0	社債・借入金の減
自己資本	248,683	236,163	12,520	5.3	
純資産合計	254,755	241,480	13,275	5.5	利益剰余金の増
負債純資産合計	757,228	759,388	△ 2,160	△ 0.3	
自己資本比率	32.8	31.1	—	—	

24

1	経営概況、当社の取り組み
2	2015年3月期 第2四半期連結決算
3	2015年3月期 連結業績予想
4	連結業績の推移
5	参考資料

3. 2015年3月期 連結業績予想(1)

■ 通期の業績予想

(単位:百万円、%)

	2015年3月期 今回予想	2014年3月期 実績	増減	2015年3月期 当初予想	増減
営業収益	248,400	244,995	3,404	247,900	500
営業利益	22,700	24,244	△ 1,544	22,700	0
(営業利益率)	9.1	9.9	—	9.2	—
経常利益	34,900	36,980	△ 2,080	32,100	2,800
うち持分法投資利益	15,100	16,051	△ 951	12,500	2,600
当期純利益	24,800	27,048	△ 2,248	21,800	3,000
EBITDA倍率	7.9倍	8.0倍	—	7.8倍	—

※EBITDA倍率 = 有利子負債残高 ÷ (営業利益 + 減価償却費)

なお、有利子負債残高にはリース債務を含みます。

※当初予想は、2014年4月30日付決算短信発表値です。

3. 2015年3月期 連結業績予想(2)

■ 営業収益(セグメント別)

(単位:百万円)

	2015年3月期 今回予想	2014年3月期 実績	増減	2015年3月期 当初予想	増減
運輸業	134,700	135,062	△ 362	134,100	600
流通業	70,400	72,167	△ 1,767	71,800	△ 1,400
不動産業	21,700	21,010	689	21,300	400
レジャー・サービス業	10,000	10,320	△ 320	10,500	△ 500
建設業	25,200	21,801	3,398	23,300	1,900
その他の事業	5,000	4,927	72	4,800	200
計	267,000	265,290	1,709	265,800	1,200
消去又は全社	△ 18,600	△ 20,295	1,695	△ 17,900	△ 700
連結	248,400	244,995	3,404	247,900	500

前期比
流通業
建設業

ストア業・百貨店業の減
完成工事高の増

当初予想比

運輸業
流通業
建設業

バス事業の増
ストア業・百貨店業の減
完成工事高の増

26

3. 2015年3月期 連結業績予想(3)

■ 営業収益(主なセグメントの内訳)

(単位:百万円)

	2015年3月期 今回予想	2014年3月期 実績	増減	2015年3月期 当初予想	増減
鉄道事業	71,500	72,587	△ 1,087	71,400	100
バス事業	41,600	41,068	531	41,000	600
タクシー事業	21,600	21,406	193	21,700	△ 100
運輸業計	134,700	135,062	△ 362	134,100	600
ストア業	37,000	38,296	△ 1,296	37,900	△ 900
百貨店業	26,700	27,188	△ 488	27,200	△ 500
その他	6,700	6,683	16	6,700	0
流通業計	70,400	72,167	△ 1,767	71,800	△ 1,400
不動産販売業	9,500	9,116	383	9,400	100
不動産賃貸業	9,000	8,778	221	9,000	0
不動産管理業	3,200	3,116	83	2,900	300
不動産業計	21,700	21,010	689	21,300	400

前期比
鉄道事業
ストア業

消費税増税前の先買いの反動減
店舗閉鎖による減

当初予想比

バス事業
ストア業
百貨店業

乗合・高速収入の増
駅売店コンビニ化の遅れ・中止
衣料品・食料品の売上減

27

3. 2015年3月期 連結業績予想(4)

■ 営業利益(セグメント別)

(単位:百万円)

	2015年3月期 今回予想	2014年3月期 実績	増減	2015年3月期 当初予想	増減
運輸業	15,100	17,308	△ 2,208	15,400	△ 300
流通業	900	967	△ 67	900	0
不動産業	5,200	4,630	569	4,900	300
レジャー・サービス業	100	135	△ 35	200	△ 100
建設業	800	721	78	700	100
その他の事業	300	284	15	200	100
計	22,400	24,047	△ 1,647	22,300	100
消去又は全社	300	197	102	400	△ 100
連結	22,700	24,244	△ 1,544	22,700	0

前期比

運輸業
不動産業

鉄道事業の減
不動産販売業の増

当初予想比

運輸業 鉄道事業の減

3. 2015年3月期 連結業績予想(5)

■ 営業利益(主なセグメントの内訳)

(単位:百万円)

	2015年3月期 今回予想	2014年3月期 実績	増減	2015年3月期 当初予想	増減
鉄道事業	11,400	13,465	△ 2,065	11,700	△ 300
バス事業	3,000	3,247	△ 247	3,000	0
タクシー事業	700	595	104	700	0
運輸業計	15,100	17,308	△ 2,208	15,400	△ 300
ストア業	500	477	22	500	0
百貨店業	100	104	△ 4	100	0
その他	300	385	△ 85	300	0
流通業計	900	967	△ 67	900	0
不動産販売業	900	493	406	800	100
不動産賃貸業	4,100	3,963	136	4,000	100
不動産管理業	200	173	26	100	100
不動産業計	5,200	4,630	569	4,900	300

前期比

鉄道事業

減収の影響

当初予想比

鉄道事業

修繕費・動力費の増

- 1 経営概況、当社の取り組み
- 2 2015年3月期 第2四半期連結決算
- 3 2015年3月期 連結業績予想
- 4 連結業績の推移**
- 5 参考資料

4. 連結業績の推移(1)

業績の推移

(単位:百万円)

	2011年3月期 実績	2012年3月期 実績	2013年3月期 実績	2014年3月期 実績	2015年3月期 業績予想
営業収益	237,887	230,282	244,059	244,995	248,400
運輸業	129,190	126,985	131,886	135,062	134,700
営業利益	20,411	19,922	22,984	24,244	22,700
運輸業	15,049	14,142	16,780	17,308	15,100
営業外収益	8,883	9,595	13,935	18,439	17,300
持分法投資利益	5,573	7,201	11,564	16,051	15,100
営業外費用	8,383	7,277	6,317	5,704	5,100
支払利息	7,179	6,577	5,806	5,151	4,600
経常利益	20,911	22,240	30,602	36,980	34,900
当期純利益	12,027	13,471	21,973	27,048	24,800

有利子負債残高等の推移

(単位:百万円)

	2011年3月期 実績	2012年3月期 実績	2013年3月期 実績	2014年3月期 実績	2015年3月期 業績予想
借入金・社債等	396,285	384,345	369,342	345,688	331,000
リース債務	24,032	23,004	24,180	23,545	24,000
合計(有利子負債残高)	420,317	407,349	393,522	369,234	355,000
EBITDA倍率	9.9倍	9.7倍	8.8倍	8.0倍	7.9倍

目次

- 1 経営概況、当社の取り組み
- 2 2015年3月期第2四半期 連結決算
- 3 2015年3月期 連結業績予想
- 4 連結業績の推移
- 5 参考資料**

長期経営計画「Eプラン」の概要

名称・計画期間

長期経営計画「Evolution Plan」(=Eプラン)[2010年度～2021年度 12ヶ年]



長期経営ビジョン

グループ事業の中核である交通運輸事業の競争力・収益力を更に強化すると共に、千葉県北西部(特に京成線・新京成線・北総線沿線)並びに東京都東部を地盤として地域に密着した堅実な総合生活産業を展開し、地域経済を代表する企業グループの地位を拡充する。

長期数値目標

2021年度における連結決算数値

営業収益	2,800億円以上
営業利益率	10%以上
有利子負債残高	3,500億円以下
(EBITDA倍率※)	7倍以下)

※EBITDA倍率 = 有利子負債 ÷ (営業利益 + 減価償却費)

中期経営計画「E2プラン」の概要(1)

名称・計画期間

中期経営計画「E2プラン」(2013年度～2015年度 3ヶ年)



基本的な考え方

コア事業である運輸業を中心とした堅実な事業運営を推進するとともに、有利子負債の削減を進めることにより、引き続き安定した事業成長を目指す

安全・安心なサービスの提供

京成エリアにおける営業力強化

財務体質の更なる強化

基本方針

- ◎ 成田スカイアクセスの利便性・認知度の向上により、鉄道事業の競争力・収益力の強化を図る。
- ◎ コア事業(運輸業)を中心に引き続き堅実な事業運営を推進し、各事業分野において一定の事業成長を実現する。
- ◎ 将来に亘り安定的な事業成長を実現するため、賃貸資産の拡充を図るとともに、投資案件を選別し投資規模の適正化を推進する。
- ◎ 減価償却の範囲内での設備投資の実施を原則とすることで、フリーキャッシュフローを確保し、財務体質の強化を図る。
- ◎ グループ全体経営を重視し、グループシナジーの最大化を図る一方、M&Aや事業提携も視野に入れ、事業基盤の拡充を図る。
- ◎ 安全管理体制並びに、異常時・災害時におけるグループリスク管理体制の強化を図る。
- ◎ 京成グループ全体のブランド価値向上により、競争力を強化する。

数値目標

	2014年度(予想)	2015年度(目標)
営業利益	227億円	230億円以上
(営業利益率)	(9.1%)	(9.5%以上)
経常利益	349億円	310億円以上
有利子負債残高	3,550億円	3,550億円以下
(EBITDA倍率)	(7.9倍)	(7.7倍以下)

※1 EBITDA倍率 = 有利子負債 ÷ (営業利益 + 減価償却費)

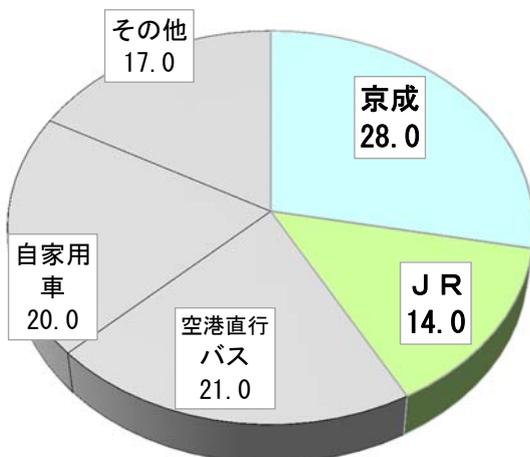
中期経営計画「E2プラン」の概要(4)

		2014年度 予想	2015年度 E2プラン	増減
運 輸 業	営業収益	1,347億円	1,339億円	8億円
	営業利益	151億円	159億円	△8億円
流 通 業	営業収益	704億円	759億円	△55億円
	営業利益	9億円	12億円	△3億円
不 動 産 業	営業収益	217億円	182億円	35億円
	営業利益	52億円	52億円	0億円
レジャー・サービス業	営業収益	100億円	113億円	△13億円
	営業利益	1億円	3億円	△2億円
建 設 業	営業収益	252億円	229億円	23億円
	営業利益	8億円	7億円	1億円
その他の事業	営業収益	50億円	51億円	△1億円
	営業利益	3億円	2億円	1億円
合 計 (連結修正後)	営業収益	2,484億円	2,480億円	4億円
	営業利益	227億円	230億円	△3億円

36

成田空港アクセス(1)

成田空港への交通アクセスシェア



調査日:

2014年3月 14日(金)0時~24時(24時間)

2012年3月 9日(金)0時~24時(24時間)

成田国際空港(株)が2014年8月27日にリリースした「成田国際空港交通アクセス実態調査」を元に作成

	2014年	2012年	増減
出発旅客数(人)	47,714	38,282	+9,432
鉄道利用者数(人)	20,040	17,610	+2,430
鉄道の占める割合(%)	42%	46%	△4%
京成電鉄	28%	32%	△4%
スカイライナー	9%	10%	△1%
スカイライナー以外	19%	22%	△3%
JR東日本	14%	15%	△1%
NEX	9%	10%	△1%
NEX以外	5%	5%	0%

37

成田空港アクセス(2)

交通機関		経路	所要時分(注1)	運賃・料金(注2)
鉄道		日暮里 第2ビル 空港 (成田スカイアクセス)	スカイライナー 36分(38分) 一般車[アクセス特急] 53分(55分)	スカイライナー2,470円(2,465円) 一般車1,240円(1,235円)
		日暮里 第2ビル 空港 (本線)	一般車[快速特急] 66分(69分)	一般車1,030円(1,025円)
	J R	東京 第2ビル 空港 (総武・成田線・JRルート)	成田エクスプレス 50分(53分)	成田エクスプレス3,220円(3,217円) 一般車1,320円(1,317円)
バス		東京 第2ビル 空港	東京シャトル 60分(約70分)	900円(注3)
	リムジンバス	東京 第2ビル 空港	80分(約85分)	3,100円

注1: 所要時分は最短列車・バスの発駅から空港第2ビル駅まで、()内は成田空港駅までのデータ

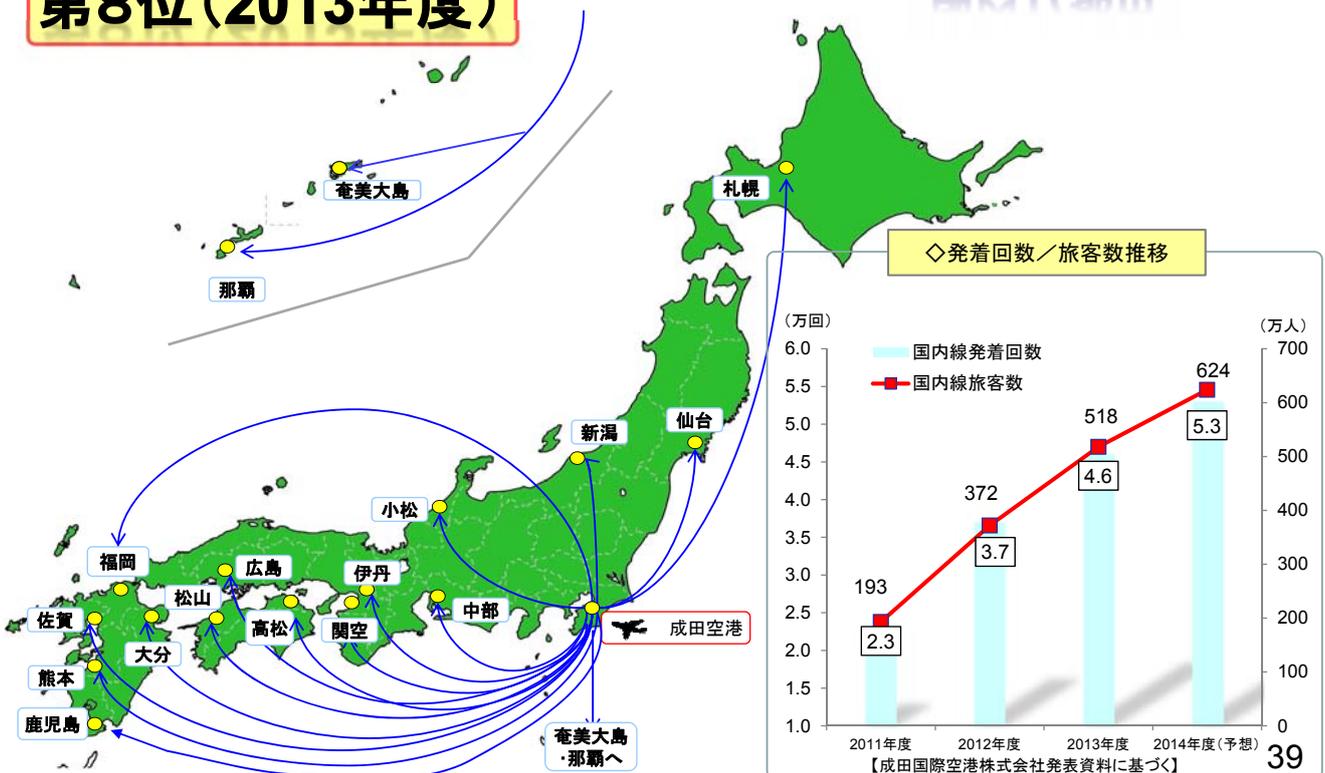
注2: 運賃・料金における()内は、交通系ICカードを利用した場合

注3: 予約なしで乗車する際の運賃は1,000円(東京駅発の早朝深夜便のみ2,000円)

成田空港の国内線ネットワーク

**国内線利用者数
第8位(2013年度)**

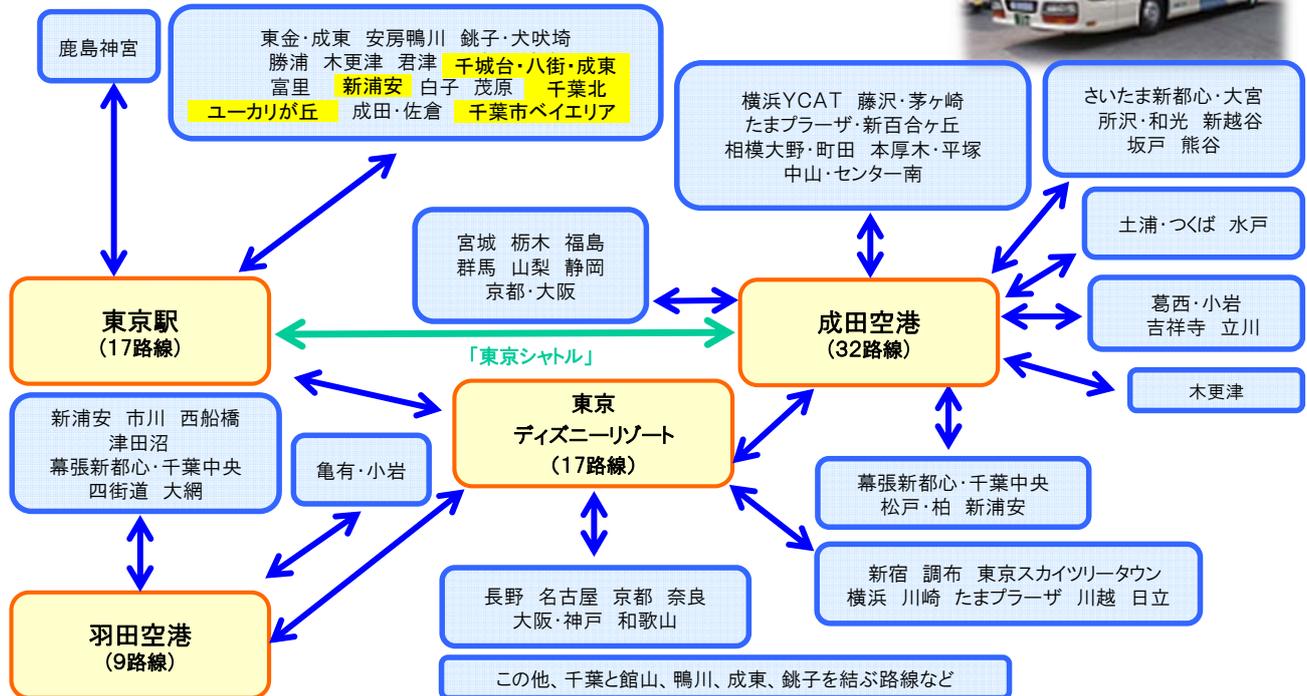
成田空港のネットワーク 国内17都市



高速バス路線展開



▶ 当社グループは成田空港、東京ディズニーリゾート、東京駅、羽田空港の4拠点を中心に路線を展開



注1. 黄色背景は「マイタウン・ダイレクトバス」(いずれも東京駅発着)

注2. 路線数は、2014年9月末現在

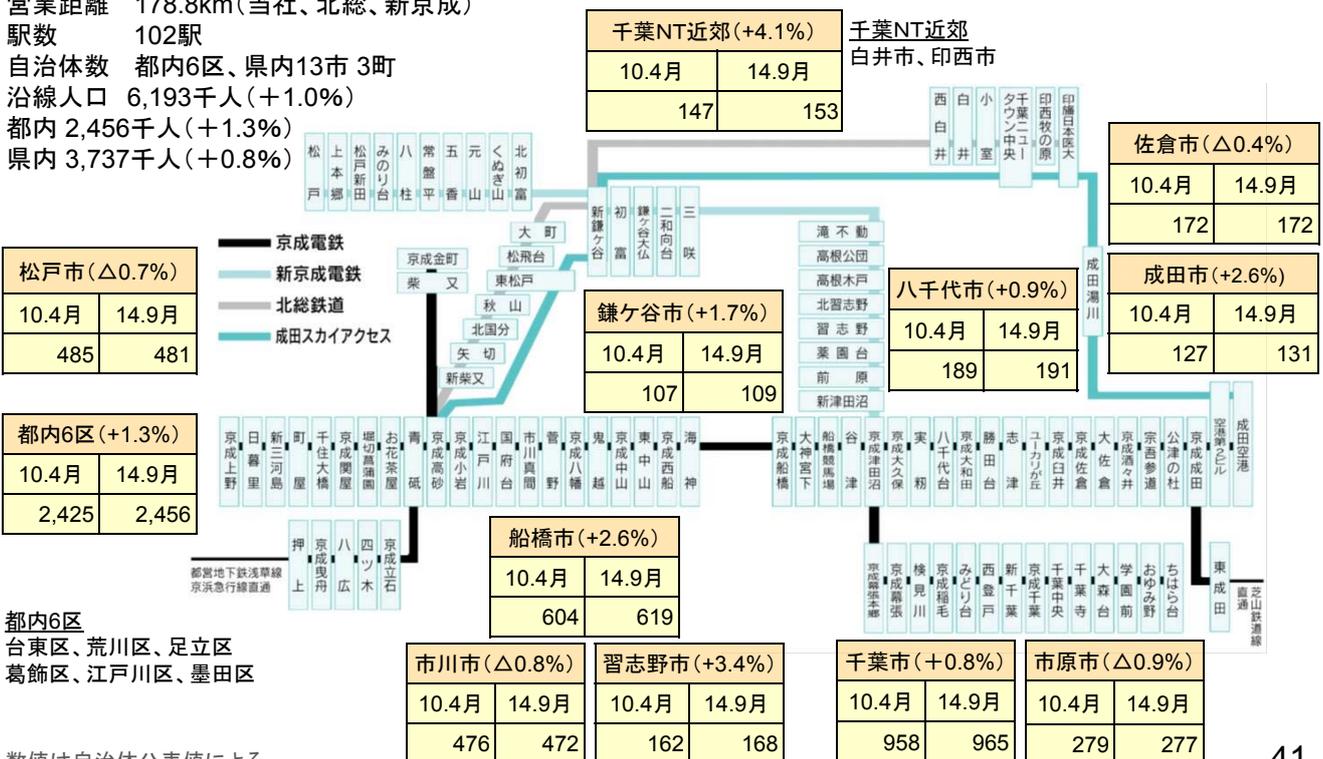
沿線人口の推移



2014年9月、2010年4月(前中期経営計画「E1プラン」初年度)比

単位:千人

京成エリア 東京都東部・千葉県
 営業距離 178.8km(当社、北総、新京成)
 駅数 102駅
 自治体数 都内6区、県内13市 3町
 沿線人口 6,193千人(+1.0%)
 都内 2,456千人(+1.3%)
 県内 3,737千人(+0.8%)



数値は自治体公表値による

本資料は、弊社ホームページでご覧いただけます。

<http://www.keisei.co.jp/keisei/ir/top.cgi>

本資料の情報のうち、過去の事実以外のものは将来の見通しであり、リスクや不確実性を含んだものです。

実際には様々な要因により異なる結果となる場合があることをご承知おきください。